

「情熱」「行動力」「アイデア」の新しい風で、みなさんと一緒にまちづくり



清流だより

第13号

令和2年7月15日発行

もっと
南木曽を元気に!

日々の活動の様子は
「向井ひろあきブログ」
「町HP 町長の部屋」で
発信中 ⇒



【討議資料】

発行責任者: 向井ひろあき後援会 木村左右和
連絡先: 南木曽町読書2740-2 電話 0264(57)2475

意欲を持って2期目をスタート

4月14日告示の南木曽町長選挙では「向井ひろあき」以外に立候補届け出が無く、無投票で当選が確定しました。5月12日には2期目の初登庁を行い、気持ちも新たに2期目をスタートしました。

本来であれば6月定例議会で所信表明を行った後に具体的な取り組みを進めていくべきところですが、コロナ禍の状況を踏まえ、異例となる臨時議会を同日に招集して新型コロナウイルス対策関連予算を上程しました。

今後とも会員一同力をあわせて、元気な南木曽町をめざしてがんばっていきます。



爽やかな天気のもと 2期目の初登庁

5月臨時議会の新型コロナウイルス対策では、商品券給付事業(注1)と休業要請継続への協力金ならびに県事業対象外事業者への支援金といった町独自施策費用を盛り込んだほか、国の定額給付金(注2)などの経費を計上しました。今後とも感染予防、事業者支援、第2波対応や新たな生活スタイルの定着など必要な対策を進めていきます。

6月12日の定例会では、人口減少対策として「若者が住みたい町」「一人一人が健康で幸せな町」「(人も経済も)元気あふれる町」を大きな柱とする所信表明演説(注3)を行い、本格的な活動や各種施策に取り組み始めました。

(注1) 5月配布の商品券の利用期限は7月末日です。期限内の利用をお忘れなくお願いします。

(注2) 一人10万円の給付金は、皆様のご協力により手続き開始後の1か月で95%以上の給付率になりました。(注3) 所信表明演説の全文は、広報紙「なごそ」議会だより7月20日発行号に掲載されていますので是非ご覧ください。



報告会での万歳、隣は青山中津川市長



遊説カーの前であいさつ



妻籠地区で皆さんと

朝の通勤時に
手を振りました



今回も朝の辻立ちを19号沿い各所で行いました。

4月14日の告示日は晴天に恵まれた中を町内全域に遊説活動をしました。出発式には多くの方が見送りに来てくださったほか、各地区でも暖かくお出迎えをして頂きました。

報告会も新型コロナウイルス対策のために屋外で実施。青山中津川市長はじめ心温まる激励の言葉をかけて頂いて、これからの町づくりへの決意を新たに、皆さんと気持ちをひとつにしました。



田立地区でパチリ

新型コロナウイルスの影響により後援会活動も大幅に制限される中、後援会事務所開きに始まり、朝の通勤途中に手を振って下さった皆様、街頭宣伝に耳を傾けて頂いた皆様はじめ、大勢の皆さまのお力添えの賜が結果となりました。皆様の期待に沿えるよう引き続き「もっと南木曽を元気に」するべく活動を続けていきますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。(事務局)

*法律の定めにより選挙後のお礼等には制限があります。何卒ご理解をお願い致します。

《裏面もご覧ください》

※最近の新聞報道からの写しです。
参考にご覧ください。

南木曾町長選再選の向井さんに聞く

十四日告示の南木曾町長選は、現職の向井裕明さん(60)が無投票で再選を果たした。リニア中央新幹線の七年後の開通に向けた町の活性化策や人口減少への対応、都市部との連携事業などについて向井さんに聞いた。(中田弦)

リニア開業へ生活基盤つくる

―初当選した前回に続く無
投票当選となった
(立候補者が出ないのは)
先行きが分らず町の状況を
厳しいと町民が認識している
ことの表れ。だからこそ頑張
らなくてはならない。皆さん
の意見を聞きながら、目に見
えた効果が出るような策を考
えなくてはならない。
―二期目の意気込みを
まず一つは子育てと教育の
基盤をつくる。人の流入を見
込んで、テレワークやコワー
キングなどを取り入れ、南木
曾での新しいビジネスモデル
を提案していきたい。
―名城大(名古屋)と連携
協定を結んだり、愛知、岐阜
県の自治体との「尾張藩連携
事業」が立ち上がったたり、都
市部との連携が強まっている
長野県の南端にあるので、
中京圏とのつながりは大切に
したい。ウッドスタートやふ
るさと納税などで木工品の需
要が都市部にはあるが、町に
作り手がいないのが課題。人
が働くことの支援をしないと
いけない。
―町長職は何期まで務める
か
今は何も言えない。この四
年間を精いっぱいやるだけ。
長いのは良くないと思ってい
るし、若い世代が出てなくな
てはいけない。



2期目について話す向井さん＝南
木曾町で

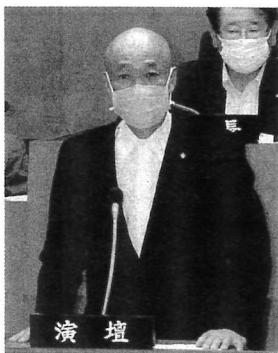
4月15日 中日新聞

6月13日 市民タイムス

人口対策最重要課題に

向井町長 2期目の所信表明

南木曾 4月の町
長選挙で無
投票再選された南木曾
町の向井裕明町長は12
日、町議会6月定例会
冒頭で、2期目の所信
表明をした。新型コロナウイルスの影響を受
けた町民の生活や経済
に「若者が住みたい」と
言える町の実現に向
け、子育て・教育支援
を強化し、救急を支
えるドクターヘリのヘ
リポート整備を進める
とした。1期目からの
キャッチフレーズ「も
つと南木曾を元気に」
を引き続き掲げて「精
いっぱい取り組む」と
し、町議会、職員、町
民の協力を求めた。



2期目の所信を述べる向
井町長。人口減少対策を
最重要課題に挙げた

4月15日 市民タイムス

サッカーの審判経験糧に

営林署職員だった父親の転
勤に伴い、小学生時代は3回
転校した。「だから余計にふ
るさとに対する思いが強くな
ったのかもしれない」。旧蘭
人をとっては審判も務
る。イタリアの有名サッカー
審判員、ピ
エルイジ
・コッリ
ナさんに刺
激を受けて始めたその頭がト
リードマークだ。好きな言葉
は「前向きに」。子供は1男
2女の3人。孫4人の祖父で
もある。
辞して平成28年の前回選に初
と経験を糧にする。

新型コロナウイルス対策・災害
への備え・熱中症予防・獣対策
等、くれぐれもご用心いただき
お過ごしください。

向井・南木曾町長 2期目の初登壇

「町民の負担に配慮」

4月14日告示の南木曾町長
選で無投票で再選した向井裕
明町長(60)が12日、町役場に
2期目の初登壇をした。マス
クを着けた向井町長は出迎え
た職員から花束を受け取り、
「町民の負担に配慮するた
め、精いっぱい務める」とあいさ
つ。職員らに「引き続き、住
民の話を聞く、地域に関わる
ことができることはすぐにやる」の
3点を意識して業務をしてほ
しい」と求めた。

新型コロナウイルス対策な
どにより、生活が苦しくなっ
たり、不安を抱えたりする町
民が大勢いるとし、「こうい
う時こそ、公務員が力を合わ
せてやるべきことをやらない
といけない」と述べた。



新型コロナウイルス対策でマ
スクを着けて初登壇をする向
井町長

5月13日 信濃毎日新聞